

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	自然環境に配慮した再生可能エネルギー推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室	国立公園課、野生生物課 自然環境整備担当参事官室		国立公園課長 桂川裕樹 野生生物課長 中島 慶二 自然環境整備担当参事官 坂本 文雄	
会計区分	エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令(具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ニ特別会計に関する施行令第50条第8項第7号		関係する計画、通知等	国立・国定公園内における地熱開発の取扱いについて(通知)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	風力発電施設による希少猛禽類に対する効果的なバードストライク防止策、地熱発電施設による温泉資源・地下水に及ぼす影響、地熱・太陽光・小水力発電に係る国立公園の風致景観上の支障について軽減策の検討を行い、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの推進を図る。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○風力発電施設による希少猛禽類に対する効果的なバードストライク防止策の検討 ○中小水力発電施設による河川環境への影響軽減策の検討 ○メガソーラー発電施設・地熱発電施設による国立公園の風致景観上の支障の軽減策の検討 ○地熱発電施設による温泉資源・地下水への影響軽減策の検討 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	20	67	86	346
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	20	67	86	—
	執行額	—	20	67	—	—	
執行率(%)	—	99	99	—	—		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	バードストライク防止策検討委託業務はH22～H24まで各種調査等に基づく防止策についての検討を実施、また、地熱発電施設による自然公園の風致景観上の支障並びに温泉資源・地下水に及ぼす影響の検討事業委託業務は地熱発電施設が自然景観に与える影響の検証等を実施するものであり、定量的な成果目標及び成果実績を示すことはできない。	成果実績	—	—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	バードストライク防止策検討委託業務はH22～H24まで各種調査により、立地環境からみた衝突リスクの検証、衝突メカニズムの検証、また地熱発電施設による自然公園の風致景観上の支障並びに温泉資源・地下水に及ぼす影響の検討事業委託業務は地熱発電施設が自然景観に与える影響の検証等を実施する。	活動実績(当初見込み)	—	—	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	バードストライク防止策検討委託業務はH22～H24まで各種調査等に基づく防止策についての検討を実施し、その後保全方策を作成するもの、地熱発電施設による自然公園の風致景観上の支障並びに温泉資源・地下水に及ぼす影響の検討事業委託業務は地熱発電施設が自然景観に与える影響の検証等を実施するものであり、単位あたりコストは示すことはできない。		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	86	346				
	計	86	346				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画において、2020年までに一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合について10%に達することを目指すとされており、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの推進の必要性は非常に高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約については可能な限り競争性のある契約方法を実施している。 経費については、立地環境からみた衝突リスクの検証に必要な現地調査や事前打ち合わせの人的費、衝突個体の医学的剖検等、事業を実施するために不可欠な用途に充てられている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	過年度の事業成果をフィードバックし、鳥類及び風力発電施設の専門家を含む検討会での意見も踏まえ必要と判断される調査を実施して実効性の確保に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業は平成22年度より海ワシ類における風力発電施設に係るバードストライクの軽減に資する各種調査、検討を実施しているが、調査等に当たってはこれまでの知見等をもとに調査地や調査手法を選定し効率的に実施している。今後も引き続き知見を収集しながら事業の効率化を図っていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	321

※平成23年度実績を記入

環境省
23百万円

風力発電の推進と希少な野生生物保護との両立を図り、国民の理解を得られる適切な配慮を実施することができるようにする

【総合評価 委託】

A.(財)日本気象協会
(共同事業者;NPO法人バードリサーチ)
23百万円

立地環境からみた衝突リスクの検証調査、ビデオ撮影調査、死亡個体の医学的剖検、検討会の設置・運営等。

環境省
44百万円

地熱資源開発における最新の傾斜掘削・垂直掘削の技術の検証や自然公園の風致景観上の支障の課題について整理・検証する。

【総合評価 委託】

B.(株)プレック研究所
44百万円

自然環境への影響把握、地熱資源の開発に係る地下の流体モデルの検証、検討会の運営等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(財)日本気象協会(共同事業者:NPO法人バードリサーチ)			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	研究員等	9			
	外部委託	・株式会社 猛禽類医学研究所 (衝突個体の医学的剖検による衝突状況解明と飛翔状況からの原因考察) ・株式会社 スノーイーターズ (海ワシ類の諸条件による衝突リスクの検証、ビデオ撮影調査のうち、ビデオ撮影)	4			
	借料損料	視程計、レンタカー等	3			
	旅費	現地調査、事前打ち合わせ等	3			
	諸謝金	検討会、調査謝金	1			
	その他	機材運搬費等	3			
	計		23	計		0
	B.(株)プレック研究所			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	研究員等	17			
	旅費	現地調査	6			
	諸謝金	検討会	2			
	借料損料	会場借料、レンタカー	1			
	外注費	流体モデルの検証等(中央温泉研究所)	15			
	その他	印刷製本費等	2			
	消費税		1			
	計		44	計		0
	C.			G.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本気象協会(共同事業者:NPO法人バードリサーチ)	立地環境からみた衝突リスクの検証調査、ビデオ撮影調査、死亡個体の医学的剖検、検討会の設置・運営等	23	1	85.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プレック研究所	平成23年度地熱発電施設における自然公園の風致景観上の支障並びに温泉資源・地下水に及ぼす影響の検討事業委託業務	44	3	98.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					